

要望書提出に関する新聞記事

山陰中央新報 (H27.6.11 (木))



説明する太田章彦さん(右)

障害者暮らしやすく 溝口知事に要望書 差別禁止条例制定求め

県内の障害者団体などでつくる「しまね障がい者フォーラム」は10日、障害者差別禁止条例の制定を求める要望書を溝口善兵衛知事に提出した。同フォーラムは今後、市町村にも制定を働き掛ける。

要望書では、2016年4月に障害者差別解消法が施行され、障害者を取り巻く環境は整いつつあるとしながらも、まだ暮らしにくさがあると指摘。当事者の留孤児の救援に尽力した男性を描いた映画を同市内で企画している。

溝口善兵衛知事に要望書を手渡し福井幸夫代表幹事(左)



声や地域の実態を踏まえた条例制定▽社会の壁をなくす施策の実施▽障害の有無に関係なく、支え合う社会を構築する「あいサポート運動」の強化の3項目を求めた。

福井幸夫代表幹事(70)ら「Stranger of Island」海上と題した今回の作品展は、公益社団法人日本写真協会(東京)などが、「島」をテーマに写真家4人の作品を都内各地で紹介する「東京写真月間2015」の一環で企画。太田さんは14年

事務所訪問。総務省消防庁の全国防災・危機管理トップセミナー。〈出雲〉東京出張中。午前、全国市長会議。午後、地元選出国会議員への要望活動。全国市長会議。〈益田〉市長座談会。

6人が県庁を訪れ、溝口知事に要望書を手渡した。障害者600人を対象に昨年9月に行ったアンケートで、教育現場でいじめられたと感じた人が11人にとったなどとする調査結果も添えた。溝口知事は「議会や県民と連携しながら(条例制定を)検討したい」と述べた。

福井代表幹事は「今後は市町村にも条例制定を求め、障害者と健常者がともに暮らしやすい社会をつくりたい」と話した。

同フォーラムは昨年8月、県身体障害者団体連合会や県肢体障害者協会など24団体で発足した。差別を禁じる条例は、千葉県など全国13自治体が制定している。

読売新聞 (H27.6.11 (木))

障害者差別なくす条例を 県内団体、知事に要望書

県内の障害者団体などでつくる「しまね障がい者フォーラム」(代表幹事＝福井幸夫・県身体障害者団体連合会長)は10日、障害者差別解消法に基づく県条例の制定を求める要望書を、県庁で溝口知事に提出した。

要望書では社会的障壁や差別をなくす施策の速やかな実施を求め、福井代表幹事は「少しでも障害者らが住みやすくなるよう、一日も早い条例制定を」と訴えた。書面を受け取った溝口知事は「県民が安心できる社会をつくらねばならない。議会とよく話し合って検討したい」と述べた。

要望書の提出に先立ち、同フォーラムは県内の障害者ら621人を対象に昨年9月～今年1月に実施したアンケート結果を公表。寄せられた回答には、盲導犬を伴った入店を飲食店や宿泊施設に断られた▽資格試験、公務員試験の点字受験ができない▽口座開設で代

花火ドドンと1万3000発

水都・松江市の夏を彩る松江水郷祭について、経済団体などでつくる実行委は10日、今夏のテーマを「祝 松江城国宝へ」と

午後8時から。観光客増を見込み、臨時駐車場を昨年の倍の400台分確保し、会場へのシャトルバスを増便す





溝口知事（左端）に要望書を手渡す福井代表幹事（左から2人目）

差別解消へ県条例を

障害者団体、知事に要望

県内の障害者団体24団体でつくる「しまね障がい者フォーラム」（福井幸夫代表幹事）は10日、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を訴え、溝口善兵衛知事に障害者差別の解消に向けた県条例の制定を要望した。

同フォーラムのメンバー16人が県庁を訪ねた。福井代表幹事が、2014年に国が批准した国連の障害者権利条約を溝口知事に説明した上で「県内でも障

害者に対する社会的障壁や差別などがある」と指摘。県条例制定を求め、要望書を手渡した。

溝口知事は「大きな課題。条例制定について

ては、議会とよく話し合いたい」と述べた。同フォーラムは昨年8月、障害別に分かれていた団体が集まって設立した。

（川井直哉）

の旧国鉄大社線大社駅の開業に合わせて整備された。出雲大社の表参道と位置付けられ、参拝客向けの店にぎわった。90年に大社線が廃止となり、人通りが激減したが、「平成の大遷宮」をきっかけに、官民がにぎわい再生に着手した。

県が2011年度から舗装をリニューアルして石畳としたほか、

神門通り地区に景観大賞優秀賞 官民の協力評価

出雲市大社町の神門通り地区が、国土交通省の「都市景観大賞」都市空間部門優秀賞の全国4地区の一つに選ばれた。大賞（3地区）に次ぐ賞で、本年度の受賞は中国地方では神門通りだけ。

同通りは1912年